

2021年度

帰国生入学試験のための
参 考 資 料



しょう
頌

えい
栄

女 子 学 院



校長 岡見 清明

頌栄では、今から30年以上遡る1986年から帰国生の受け入れを開始しました。このきっかけは、私の父である前院長の姉2人が、昭和初期としては珍しい帰国生であったことが大きく影響したのではないかと思います。

保護者の仕事の関係で小学校時に海外で教育を受け、帰国して日本の中学で学ぶには大きな壁があります。日本では私立中学入試のため、多くの小学生が4年生頃から塾に通い、入試の準備をしています。帰国生がそのような生徒と同じ土俵で試験を受けて合格をするのは、とても難しいことと思われます。そうした帰国生を救済する意味もあって、頌栄では中学入試の選抜に、英語による試験を取り入れました。

頌栄の中学1年は、1週間に6時間の英語の授業があります。帰国生クラスはその内4時間がネイティブスピーカーの先生による授業で、2時間が日本人の先生による授業です。日本人の先生も元々帰国生であったり、海外の教育機関で学んだ経験を持つ者が大半です。

英語の授業以外はすべての生徒が同じ授業を受けるので、英語の試験で入学した帰国生がついていくにはそれなりに努力が必要です。しかし、保護者の皆さんが長い目で見て下さり、辛抱強く応援して下さいれば、高校生になる頃には、その差は殆どなくなると思います。その間、私たちも最大の努力を惜しみませんので、わからないことは積極的に質問してほしいと思います。

個々の生徒の良い面を伸ばし、苦手な分野を少しでも減らしていきたいと思えます。大事なことは、生徒を中心にご家庭と学校が信頼関係を基に、お互いに協力しあって、生徒の成長を見守ることです。

高校2年生からは大学受験に備え、文理コース別のカリキュラムになります。英語の授業も習熟度別になるので、帰国生と一般生との区別は無くなります。それぞれが希望する将来に向けて、進路を決めていきます。

2021年度 中学校帰国生 生徒募集要項

〔受験資格〕

2021年3月に小学校を卒業見込の者（現地校から出願の場合、日本の学齢で同等の資格を有する者）で、保護者の転勤に伴い海外に在住し、2年以上英語圏の現地校に在籍した帰国生。英語圏でない場合は、2年以上現地のインターナショナル・アメリカン・ブリティッシュスクール等（英語で授業が行われる学校）に在籍した帰国生。
 なお、原則として帰国後3年以内である者。（東京私立中高協会申し合わせ）

12月入学試験

2021年度 中学校帰国生 生徒募集要項	
募集人員	特に定めず
試験日時	2020年12月5日（土） 午前8時10分集合
出願手続	2020年11月9日（月）～11月24日（火） 午前9時～午後4時 〈※11月15日（日）・22日（日）・23日（月・祝日）を除く〉
	出願時には、下記の書類を本校事務所受付に提出してください。 （遠隔地より郵送出願をご希望の方は、事前に事務所へお問い合わせください） ① 入学願書 ② 小学6年生の通知表のコピー（日本の小学校に在籍していない、または在籍期間が短く通知表がない場合は不要） ③ 現地校の成績表のコピー（最新のもの2年分） ④ 海外在留証明書 （願書一式内にある本校指定の用紙をご使用ください。ご使用できない場合は、出願前に必ず本校事務所までお電話にてお問い合わせください。） ⑤ 受験料納入証明書 ※出願手続き方法については、現在検討中です。詳細は9月上旬までにホームページにて公表します。
受験料	出願前に受験料25,000円を銀行で本校所定の用紙で振り込み、 受験料納入証明書を受け取ってください。
合格発表	2020年12月6日（日） 午前9時～正午
試験内容	● 英語（筆記・英会話） ● 面接（保護者同伴）
入学手続	2020年12月7日（月） 午前9時～午後3時 入学手続時には、下記の書類と納入金が必要になります。 ① 保証書（所定の用紙） ② 入学金 未定（2020年度450,000円） ※期限内に手続が完了されない場合には、入学許可を取り消します。 ※提出された書類や納入金は、お返しいたしません。 ※3月26日（金）に「新入生オリエンテーション」があります。

2月入学試験

2021年度 中学校帰国生 生徒募集要項	
募集人員	特に定めず
試験日時	2021年2月1日(月) 午前8時10分集合
出願手続	2021年1月10日(日)～1月26日(火) 午前9時～午後4時 〈※1月11日(月・祝日)・17日(日)・24日(日)を除く〉
	出願時には、下記の書類を本校事務所受付に提出してください。 (遠隔地より郵送出願をご希望の方は、事前に事務所へお問い合わせください) ① 入学願書 ② 小学6年生の通知表のコピー (日本の小学校に在籍していない、または在籍期間が短く通知表がない場合は不要) ③ 現地校の成績表のコピー (最新のもの2年分) ④ 海外在留証明書 (願書一式内にある本校指定の用紙をご使用ください。ご使用できない場合は、出願前に必ず本校事務所までお電話にてお問い合わせください。) ⑤ 受験料納入証明書 ※出願手続き方法については、現在検討中です。詳細は9月上旬までにホームページにて公表します。
受験料	出願前に受験料25,000円を銀行で本校所定の用紙で振り込み、 受験料納入証明書を受け取ってください。
合格発表	2021年2月2日(火) 午前9時～正午
試験内容	● 英語 (筆記・英会話) ● 面接 (保護者同伴)
入学手続	2021年2月2日(火) 午前11時～午後3時 2021年2月3日(水) 午前9時～正午 入学手続時には、下記の書類と納入金が必要になります。 ① 保証書 (所定の用紙) ② 入学金 未定 (2020年度450,000円) ※期限内に手続が完了されない場合には、入学許可を取り消します。 ※提出された書類や納入金は、お返しいたしません。 ※3月26日(金)に「新入生オリエンテーション」があります。

※帰国生入試は、12月帰国生入試と2月帰国生入試(2月1日実施)の2回です。

一般入試とは日程が異なりますので、ご注意ください(一般生入試は、第1回(2月1日実施)と第2回(2月5日実施)の2回です)。

「帰国生をどのように受け入れ、どのように育てるか」

本校は創立130年以上の長い伝統を誇る学校です。また、早くから帰国生を積極的に受け入れてきた学校としても知られています。特に創立100周年以降は、帰国生の占める割合が飛躍的に伸び、この15年間はほぼ全校生徒の20%が帰国生という状態を堅持しています。

どうして帰国生を受け入れるようになったか。それは帰国生のもつ素晴らしい資質に早くから注目していたからに他なりません。一時的にしろ、日本文化から離れ、全く違った価値観の中で育った経験は、これからの国際社会を生き抜く上で大きな財産となります。またそうした異文化の中で世界を見てきた経験をもつ帰国生と共に学ぶ一般生にとっても大きな刺激となります。互いがそれぞれの長所を引き出しあえる関係、それこそが頌栄女子学院の目指す「国際的感覚をもった人間形成」に繋がります。

帰国生が帰国生らしさを発揮するためには、同じような経験をもつ仲間が身近にいることが必要です。本校では20%の帰国生を5クラス中、3クラスに分散し、一般生との混合クラスを作っています。そうすることにより、クラスの1/3強が帰国生という環境が整います。本校の帰国生は誰に遠慮することなく身につけた英語を使い、明るくポジティブな帰国生の特質を保ち続けることができます。この「クラスの1/3強」という絶妙の割合が、ある種の化学反応を起こさせ、一般生と帰国生それぞれの持ち味を何倍にもして引き出し合います。

帰国生はよく、「自己主張が強い」、「協調性に欠ける」などと言われることがありますが、これはステレオタイプの誤ったイメージだと思います。むしろ、帰国生は異質な者に対して一般生よりずっと鷹揚で寛大です。これは彼ら自身が、懐の深い、歴史に裏打ちされた欧米型の個人主義によって少数者としての尊厳を守られた経験をもっているからではないでしょうか。「私は私でありたい」という思いが強いからこそ、他者を他者として認める素地ができています。集団における調和を偏重するあまり、目立つ者、異質なものを排除しがちな文化の影響を受けて育った一般生にとって、「ありのままの自分」を認め合う個人主義的だらかさは、非常に新鮮で、また心地よいものとなります。

頌栄生の80%近くを占める一般生は、少なくとも中学3年間に一度はこの「混合クラス」を体験できるよう配慮され、クラス替えが行われます。中1の間でこそ顕著だった「混合クラスの特質」は、学年が進むにつれ全体に広がり、やがて学校全体が混合クラスの特質を持つようになります。すなわちこれが、頌栄のスクールカラーと呼ばれるものだと思います。

よく頌栄の生徒は「明るく元気」というイメージを持たれますが、全員が同じように陽気な性格という意味ではありません。むしろ、実に様々な個性の生徒が頌栄には存在します。その一人一人が自分らしく、自然に振る舞える環境が生徒の表情を生き活きと輝かせ、「明るく元気」な



イメージに繋がっているのではないのでしょうか。神様が一人一人の生徒に備えてくださった「たまもの(タラント)」を大切に育て、社会のために貢献、奉仕できる人材を育成することが本校の掲げる大きな教育目標です。

一般生が帰国生と机を並べることによって多くのことを学んでいることは論を俟ちませんが、帰国生にとっても同じことが言え

ます。頌栄の帰国生は一般生から多くの刺激を受け、たくさんのことを吸収しようとします。もし帰国生だけが固まっていたら決して気付けなかった可能性を、一般生と共に学ぶことによって自分の中に発見することができます。例えば、それまで英語を生かすこと以外に自己表現の方法を想像できなかった生徒が、一般生の友達と交わることによって、新たな視界が開け、理系の進路や国公立受験を目指すようになることは珍しくありません。一般生と帰国生がよきライバルとし、ときには良き理解者として互いを励まし高め合う関係が頌栄の中ではしっかりと根付いています。

帰国生はすでに国際人としての資質を十分備えています。しかし、帰国生がどれほど自分たちの中にある欧米的なものを意識しても、日本人であることに違いありません。本校は、帰国生の国際人としての資質を大切にしながらも、日本人としての教育をきちんと与える学校です。

本校の帰国生は、伝統武芸である弓道や日本舞踊、茶道、華道といったクラブ活動、さらには高3で行われる礼法の授業に、高い関心を示します。帰国生である自己が何ものにも脅かされず安定しているから、未知のもの、異質なものへの純粹な好奇心が働き、良いものを意欲的に取り入れようとする積極性が生まれるのだと思います。その積極性こそが本校の帰国生の大きな魅力となっています。

もし欧米の価値観しか会得できないまま国際社会に出れば、日本人であることが彼女らの弱みとなってしまいます。しかし、日本の文化や感性をしっかりと身につけるなら、日本人であることは彼女らの強みとなります。創立130年を超える本校の伝統は、帰国生に大きな強みを与えていると確信しています。

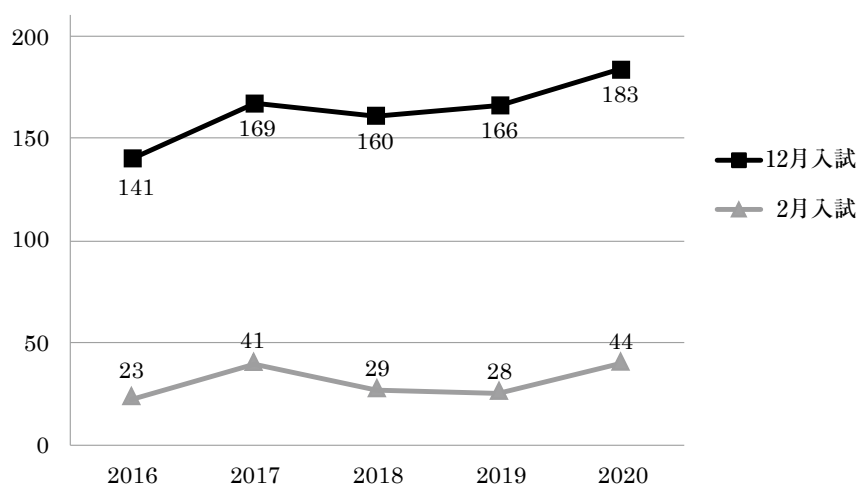
試験について

- 1 英語筆記試験は英語で出題され、現地小学校6年程度の英文が、読み書きできるかを問う問題。
英語 I (Writing Task) 40 分、英語 II (Reading Comprehension, Grammar & Vocabulary) 40 分
- 2 英会話試験は個別。(受験生一人で、一般的会話だけではなく英語力を問うもの)
- 3 面接は、保護者同伴で行う。

◆ 2020 年 (令和 2 年) 度 帰国生入学試験状況

	12月帰国生入試	2月帰国生入試	合計
出願者	183名	44名	227名
受験者	173名	39名	212名
合格者	85名	10名	95名

◆ 過去 5 年間応募者数の変化



合否判定

- 1 英語の試験は「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能すべてについて出題される。
採点は、文法力、理解力、作文力、単語力など数項目にわたって行い、100点満点で判定する。
- 2 英会話試験は、質問したことへの理解力、発言の内容、正確さ、表現力など、数項目について判定する。
- 3 合否は提出書類その他を参考にし、総合的に判定する。

英語筆記試験

I	WRITING TASK	
	(A Fiction)	20 点満点
	(B Non-fiction)	20 点満点
II	READING COMPREHENSION	30 点満点
	GRAMMAR & VOCABULARY	30 点満点
合 計		100 点満点

英語筆記試験（I WRITING TASK）採点表

EXCELLENT (20~16)	The student has a native speaker or near native speaker knowledge in the correct use of English. There are no or only minor grammar mistakes, the vocabulary is appropriate to the topic in question, spelling is fine and the sentence structure and flow of the writing are a pleasure to read.
GOOD (15~11)	This student's knowledge of English is adequate and she has no problem in communicating her thoughts, ideas and opinions. There are, though, some grammar mistakes which impair understanding and the vocabulary is not always appropriate. The syntax is not quite of native or near native level and may be a little awkward. However, the student has enough ability to show that she would be perfectly capable of entering a returnee class where she could eliminate her minor defects and continue to make progress in learning English.
FAIR (10~6)	This student has obviously learned a lot of English while abroad but has not absorbed it thoroughly enough to make coherent use of it. There are a lot of grammar mistakes and misuse of vocabulary that make it difficult for the reader to follow the flow and to understand completely what the student is trying to say. Structures and vocabulary may also be too simple. It would be difficult for this student to improve her English unless her motivation was extremely high.
POOR (5~1)	A lack of understanding in the basic tenets of how to write English sentences. Bad grammar and spelling, inappropriate or too simple vocabulary, sentences which do not always make sense. This student has not been exposed to enough natural English to enable her to express herself adequately in it. There would be too much remedial work involved for this student to enter a returnee class.

※ [A] Fiction [B] Non-fiction とともに同じ基準を用い、それぞれ 20 点満点で採点します。

I WRITING TASK

Answer both **A** and **B** in 40 minutes.

A Fiction

If you could be an animal, which one would you choose? Write a story about a day in that animal's life.

Write between 20-25 lines. Write in the given space on your answer sheet.

B Non-fiction

Write about one of your favorite childhood memories.

Write between 10-15 lines. Write in the given space on your answer sheet.

* 解答用紙は、それぞれ B4 サイズ 1 枚で、罫線が引いてあります。

II READING COMPREHENSION

Read this passage and answer the questions in English.

It was the sweetest, most (1) my _____ -looking place any one could imagine. The high walls which shut it in were covered with the leafless stems of climbing roses which were so thick that they were matted together. Mary Lennox knew they were roses because she had seen a great many roses in India. All the ground was covered with grass of a wintry brown and out of it grew clumps of bushes which were surely rose-bushes if they were alive. There were numbers of standard roses which had so spread their branches that they were like little trees. There were other trees in the garden, and one of the things which made the place look strangest and loveliest was that climbing roses had run all over them and swung down long ① tendrils which made light (2) sw _____ curtains, and here and there they had caught at each other or at a far-reaching branch and had crept from one tree to another and made lovely bridges of themselves. There were neither leaves nor roses on them now and Mary did not know whether they were dead or alive, but their thin gray or brown branches and sprays looked like a sort of hazy mantle spreading over everything, walls, and trees, and even brown grass, where they had fallen from their fastenings and run along the ground. It was this hazy tangle from tree to tree which made it all look so mysterious. Mary had thought it must be different from other gardens which had not been left all by themselves so long; and indeed (i) [she / was / it / different / any / place / had / other / from] ever seen in her life.

"How ② still it is!" she whispered. "How still!"

Then she waited a moment and listened at the stillness. The robin, who had (3) f _____ to his treetop, was still as all the rest. He did not even flutter his wings; he sat without stirring, and looked at Mary.

"No wonder it is still," she whispered again. "I am the first person who has spoken in here for ten years."

She moved away from the door, stepping as softly as if she were afraid of awakening someone. She was glad that there was grass under her feet and that her steps made no sounds. She walked under one of the fairy-like gray arches between the trees and looked up at the sprays and tendrils which formed them. "I wonder if they are all quite dead," she said. "Is it all a quite dead garden? I wish it wasn't."

If she had been Ben Weatherstaff she could have told whether the wood was alive by looking at it, but she could only see that there were only gray or brown sprays and branches and none showed any signs of even a tiny leaf-bud anywhere.

But she was *inside* the wonderful garden and she could come through the door under the ivy any time and she felt as if she had found a world all her own.

The sun was shining inside the four walls and the high arch of blue sky over this particular piece of Misselthwaite seemed even more brilliant and soft than it was over the moor. The robin flew down from his tree-top and hopped about or flew after her from one bush to another. He chirped a good deal and had a very busy air, as if he were showing her things. Everything was strange and silent and she seemed to be (4) h_____ of miles away from anyone, but somehow she did not feel lonely at all. All that troubled her was her wish that she knew whether all the roses were dead, or if perhaps some of them had lived and might put out leaves and buds as the weather got warmer. She did not want it to be a quite dead garden. If it were a quite alive garden, how wonderful it would be, and what thousands of roses would grow on every side!

Her skipping-rope had hung over her arm when she came in and after she had walked about for a while she thought she would skip round the whole garden, stopping when she wanted to look at things. There seemed to have been grass paths here and there, and in one or two corners there were alcoves of evergreen with stone seats or tall moss-covered flower (3) urns in them.

As she (ii) [second / came / the / of / stopped / alcoves / these / she / near] skipping. There had once been a flower-bed in it, and she thought she saw something sticking out of the black earth—some sharp little pale green points. She remembered what Ben Weatherstaff had said and she knelt down to look at them.

"Yes, they are tiny growing things and they *might* be crocuses or snowdrops or daffodils," she whispered.

She bent very close to them and (5) sn_____ the fresh scent of the damp earth. She liked it very much.

"Perhaps there are some other ones coming up in other places," she said. "I will go all over the garden and look."

She did not skip, but walked. She went slowly and kept her eyes on the ground. She looked in the old border beds and among the grass, and after she had gone round, trying to miss nothing, she had found ever so many more sharp, pale green points, and she had become quite excited again.

"It isn't a quite dead garden," she cried out softly to herself. "Even if the roses are dead, there are other things alive."

(Adapted from *The Secret Garden* by Frances Hodgson Burnett)

Questions: Write the answers on the answer sheet.

A. MULTIPLE-CHOICE QUESTIONS: Choose one correct answer from A) to D).

1. Where had Mary Lennox seen roses?
A) She had seen them in China.
B) She had seen them in France.
C) She had seen them in China and France.
D) She had seen them in neither China nor France.

2. What, probably, is Ben Weatherstaff?
A) A horseman. B) A servant. C) A butler. D) A groundskeeper.

3. What, probably, is Misselthwaite?
A) The estate she is staying at. B) The town she is in.
C) The garden she is in. D) The town she comes from.

4. What of the following did Mary Lennox find in the garden?
A) Alcoves of lilac trees. B) A door under the ivy.
C) Wrought iron benches. D) Roses in bloom.

B. Which word or phrase is similar in meaning to the underlined word as it's used in the reading?

- | | | | | |
|------------|---------------|---------------|----------------|------------------|
| ① tendrils | A) strings | B) leaves | C) flowers | D) vines |
| ② still | A) unnerving | B) quiet | C) deceased | D) dried |
| ③ urns | A) stone pots | B) stone beds | C) stone tiles | D) stone benches |

C. Write in the missing words for (1) ~ (5). The first letter/letters of each word is/are given.

- (1) my _____ (2) sw _____ (3) f _____ (4) h _____ (5) sn _____

D. Rearrange the words in lines (i) and (ii) to make the sentences meaningful

- (i) "...and indeed [she / was / it / different / any / place / had / other / from] ever seen in her life."
(ii) "As she [second / came / the / of / stopped / alcoves / these / she / near] skipping."

E. TRUE/FALSE QUESTIONS: If the statement is true, write "T" and if it is false write "F".

1. Mary Lennox felt lonely in the garden.
2. The sky was more brilliant and soft over the moor than over the garden.
3. Mary Lennox had a skipping rope.

F. COMPREHENSION QUESTIONS: Answer in English.

1. What could Ben Weatherstaff have done that Mary couldn't?
2. What are two things the robin did that made it seem like he was showing Mary things?

III GRAMMAR & VOCABULARY

A. Choose a word from each of the boxes below. Do not use the same word twice unless it appears twice in the box. You should change the form of the word in BOX 1 if necessary, but use only one word per BOX. Capitalize the first letter if necessary.

1. Her birthday party was (BOX1) (BOX2) because she was sick in bed.
2. My sister made me so angry on the telephone that I (BOX1) (BOX2) on her.
3. Who (BOX1) (BOX2) your cat while you were out of town?
4. Let me use your smartphone when you (BOX1) (BOX2) with it.
5. It seemed their friendship was (BOX1) (BOX2), but they've managed to maintain it.
6. I hear her grandmother (BOX1) (BOX2) yesterday. They are holding a funeral on Friday.
7. I (BOX1) you (BOX2) your father when I saw you yesterday. You look just like him.
8. Please (BOX1) (BOX2) it that you don't forget anything in the gym.
9. I don't like him because he is always (BOX1) (BOX2). He boasts of his money.
10. Does early rising really (BOX1) (BOX2) good health?

BOX1 break / call / get / hang / look / make / pass / see / show / take

BOX2 after / away / for / for / off / off / through / to / up / up

B. Choose the correct answer to fill in the blank, and write A, B, C, or D on your answer sheet. Only one answer is correct.

1. He made () for an old woman on the bus
A) occupation B) position C) seat D) room
2. We cannot make an exact estimate because we do not have () information.
A) sufficiently B) suffice C) sufficient D) sufficiency
3. Because she is (), she always smiles.
A) amiable B) astute C) arrogant D) avaricious
4. My sister was so nervous on her first day at school that she () to our mother's legs and refused to let go.
A) clung B) swapped C) mimicked D) slung
5. If I call Shoko at her office once more, I () her ten times today.
A) have called B) will have called C) will call D) called
6. It's about time you () to bed.
A) go B) went C) will go D) have gone
7. Romeo, () that Juliet was dead, decided to commit suicide.
A) believing B) believed C) to believe D) to have believed
8. The year 2016's fashions are very different from () of 2015.
A) one B) ones C) that D) those
9. My grandfather had our gate () green this time.
A) paint B) painting C) painted D) to be painted
10. Exercise is to the body () reading is to the brain.
A) which B) when C) whose D) what

C. Choose the correct meaning of the underlined expression in each sentence, and write A, B, or C on your answer sheet. Only one answer is correct.

1. Using a smartphone isn't difficult once you get the hang of it.
A) learn how to use B) get accustomed to C) find it easy to use
2. That new supermarket is selling vegetables for next to nothing.
A) nowhere B) all over the store C) very cheaply
3. Finishing writing the report was a piece of cake.
A) very easy B) my routine before breakfast C) not enough
4. Water and land make up all of the earth's surface.
A) bury B) constitute C) separate
5. Be careful not to jump the gun.
A) tread on a toy B) be furious C) act prematurely
6. Most of these organizations ran out of money.
A) used up B) raised C) donated

7. There is little arable land in this area.
 A) barren B) cultivable C) hospitable
8. She was denied authorization to enter the building.
 A) command B) certification C) clearance
9. He likes to wander in the meadow.
 A) roam B) amass C) trample
10. My brother insulted me by calling me a fool.
 A) blamed B) satirized C) offended

[参考]

解答例

II READING COMPREHENSION

A. 1. D 2. D 3. A 4. B

B. ① D ② B ③ A

C. (1) my sterious (2) sw aying (3) f lown (4) h undreds (5) sn iffed

D. (i) ‘...and indeed it was different from any other place she had ever seen in her life.’

(ii) ‘As she came near the second of these alcoves she stopped skipping.’

E. 1. F 2. F 3. T

F.

1. He could have told whether/if the wood/plants/trees/bushes was/were alive by looking at it/ them.

2. He flew down from his tree top / hopped about / flew after her (from one bush to another) / chirped (a good deal) / had a very busy air.

III GRAMMAR & VOCABULARY

A. 1. called off 2. hung up 3. looked after 4. get through 5. breaking up
 6. passed away 7. took for 8. see to 9. showing off 10. make for

B. 1. D 2. C 3. A 4. A 5. B 6. B 7. A 8. D 9. C 10. D

C. 1. A 2. C 3. A 4. B 5. C 6. A 7. B 8. C 9. A 10. C

[参 考]

◆入学後の生活について

1) クラス編成

中学1年から高校1年までは、HR 5クラス中3クラスが帰国生と一般生の混合クラスで、各クラスには帰国生が15～20名程度在籍しています。高校2・3年は文理コース別のクラス編成です。

2) 補習などの特別指導

国語・数学・社会などの各教科で、必要に応じて放課後の補習を実施しています。

各教科とも、帰国生の負担になりすぎないように学校生活に慣れてから実施するように配慮しています。

3) 英語教育

海外生活で培った高い英語力を活かして、社会で活躍できる人材の育成を目指しています。ネイティブスピーカー担当の授業の様々な活動を通して英語力を保持伸長し、加えて日本人教員の授業で文法力や和訳力を強化しています。

中学校では、英語に週6時間が配当されており、うち2時間は日本人教員、4時間はネイティブスピーカーの教員による授業です。英語のクラスは帰国生のための少人数制です。

高校1年では、週6時間を配当（うち2時間がネイティブスピーカーによる授業）。中学校同様に帰国生のための少人数クラスです。

高校2・3年生では、学年を習熟度別に7クラスに分け、生徒個々の到達度に応じた効果的な学習指導を実施しています。習熟度別編成のクラス分けは、年度途中でも適宜行ないます。

4) 帰国生の在留年数・在留先

本校に在籍している帰国生の海外在留年数は幅広く、2年間在留していた生徒もいれば、10年間以上の在留経験がある生徒もいます。在留先は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダなどの英語圏以外にも、イギリス以外のヨーロッパ各国や、中国、インド、シンガポールなどのアジア圏もあります。在留していた地域や年数によって、入試に不利になることはありません。

◆ 帰国生の在籍数 (上段が在籍総数・()内がそのうちの帰国生数)

中 学 1 年	227名 (53)	高 校 1 年	210名 (47)
2 年	224名 (46)	2 年	219名 (47)
3 年	235名 (53)	3 年	203名 (39)
中 学 合 計	686名 (152)	高 校 合 計	633名 (133)
総 合 計	1319名 (285)	※2020年4月現在	

帰国生の英語の授業について（中学校）

Native Speaker 教員の授業

週3時間の Four Skills Course と週1時間の Writing and Presentation Course があります。

Four Skills Course

英語の4技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）をバランスよく教え、実践するためのコースです。全学年共通テキストに加え、各担当者が選んだ教材を使用し、生徒のレベルや興味に合った授業を展開するよう、心掛けています。

Writing and Presentation Course

中学1年生で、収集した情報を取捨選択する力や、自分の考えを分かりやすく伝えるための構成力に加え、アイ・コンタクト等の一般的なプレゼンテーション・スキルを身に付けます。中学2年生では、学内のスピーチ・コンテストに向けてまとまった文章を書き、大勢の前で発表する力を身に付けます。中学3年生では、長めのエッセイや、フィクションに取り組みます。

Shoei returnees take four lessons a week with two native English speakers. These four hours are divided into two courses: a specialized writing and presentation planning course that meets once a week, and a four skills course that meets three times a week which covers reading, grammar, speaking and short writing assignments. Each course has a slightly different focus for each grade. Junior high school first year students are exposed to a wide range of materials, including several short stories and two novels for additional challenge. Book report presentations and debate skills are covered in detail as well. Junior high school second year students explore the natural world in English by reading social and natural science texts. They work on several projects throughout the year covering topics such as exploration of remote places, endangered species, and astronomy. In their third year, students expand their speaking and writing skills by thoroughly researching various topics for a student produced magazine. The magazine presents an interesting perspective on how students and their tastes have changed over the years. Students continue to be given guidance on how to express their opinions and ideas in writing and speaking in the form of presentations related to topics that the students themselves choose. In this way our returnees reinforce their confidence while they expand their understanding of the English language and maximize their communicative ability through writing, speaking, and research in English.



日本人教員の授業

授業は、週2時間あります。帰国生用のテキストを使用し、ディスカッションや短いプレゼンテーションを中心に、普段考えていることを共有し合い、お互いや自分自身に対する理解を深めます。意識的に、単語力の強化もしています。また一般生との共通のテキストを使用し、日本語力も身に付けながら、英語の文法力を身に付けます。

◆帰国生用共通テキスト（2020年度）＊下記以外にも使用するテキスト（副教材）があります。

Four skills course	<i>Active Skills for Reading 2,3</i>
Writing and Presentations course	<i>Weaving It Together 2, 3</i>
日本人	<i>The 7 Habits of Highly Effective Teens</i>

在校生の声

※アンケートでもっとも多かった声

◇帰国した当初一番不安だったこと、困ったこと 【無印…中1～3共通】



- ・学校になじめるかどうか
- ・勉強（授業）についていけるか英語以外の教科が心配
- ・友達ができるか いじめがないか 珍しがられないか
- ・日本語がうまく話せない 敬語が話せない
- ・漢字と文法【中3】
- ・英語を忘れてしまわないか【中2】
- ・文化や価値観の違い
日本のマナーがわからない【中3】
- ・満員電車
- ・ホームシックにかかった（外国に戻りたかった）【中2】

◇頌栄に入学して良かったこと 【無印…中1～3共通】

- ・共通の経験をもつ帰国生がいることで不安が解消、英語がたくさん話せる ・自信がもてた
- ・同じ趣味の帰国生がたくさんいて友達になれた すぐ友達ができた
- ・クラスメイトが明るい ・フレンドリー
- ・一般生と帰国生が助け合っている
- ・みんな優しくていじめが起こる環境ではなく安心した【中2】
- ・入学してから色々なことを両立できるようになった（勉強と部活等）
- ・塾に行かなくても英語を維持できた【中3】
- ・英語でエッセイやプレゼンテーションをする機会がたくさんある
- ・英文法を学べた【中3】

- ・日本人としてのアイデンティティーを確立できた【中3】
- ・わからないことを先生が丁寧に教えてくれる わかりやすく説明してくれる
- ・部活がすごく楽しい【中2】
- ・勉強を基礎から教えてくれるので一般生との差が縮まった【中2】
- ・他の学校に入学していたらできなかつたらどうかをいっぱい体験できた【中2】
- ・小学生の時より友達が増えた【中2】 良い友達に恵まれた【中3】
- ・周りが勉強するので自分も影響されて勉強するようになった【中2】
- ・帰国生が多いので身についた文化を完全に無くさなくて良くなった【中2】
- ・先生が生徒のことを思っている サポートはとても心強い【中2】
- ・帰国生のレベルに合わせた英語の本がたくさんある【中2】
- ・他の帰国生と話すことで発音や自然な英語力が伸びたと思う【中2】
- ・日本人としての常識や礼儀を少しずつ身につけられている気がする【中2】
- ・日本語力を向上させつつ英語力も向上できる【中2】
- ・部活と行事（Co-Learners' Day や Shoel Field Day）に向けた練習が楽しい【中3】

卒業生の声

～帰国生として頌栄に入学して良かった点～

アメリカに3年在住 I.M.さん

英語をもっと好きになれたことです。帰国生の英語の授業は、高度な英語力を身につけるような学習をし、時には映画を観たり、スピーチ、ディベートをしたりと、帰国生だからできる内容を受けることができます。多様な方法で英語に触れることができるのは、帰国生の受け入れに歴史をもつ頌栄だからこそです。頌栄の英語の授業は本当に楽しく、受けていて飽きません。英語が好き な子が集まる場として最適な環境だと思います。

イギリスに6年在住 M.T.さん

色々な人がいて、いろいろな友達ができたと。当たり前だと思っていたことが覆ることも多く、視野がすごく広がりました。6年間通っていても突然新たなことに気付かされることも多く、毎日がとにかく楽しいです。ネイティブの先生がたくさんいることも魅力だと思います。一緒に英語の本を買いに行ったり、授業の中で実践的な英語を学べたり、帰国生が多い学校ならではの勉強の仕方でも英語の実力を維持することができました。

フィリピンに4年在住 K.A.さん

同じ頃に海外で過ごした経験を持った友達は分かり合える点が多く、勉強面やそれ以外でも似たような悩みや疑問を持っていたので、6年間お互いにたくさん相談したり、助け合えたことはとても大きかったです。英語の授業は高校1年生までの4年間は帰国生のみで、入学前には英語力が落ちてしまったらどうしようと不安でしたが、その心配は無用でした。頌栄に入っていなかったらここまでキープできていなかったと思います。また、一般生と帰国生が互いに自分の得意分野を教え合い、常に刺激し合い、良い影響を与え合ってみんなで向上できたのは頌栄だからこそできたことでした。

Year 2020 Returnees Syllabus (Jr.1 – Jr.3)

Returnees' Course Design and Can-Do List : Four Skills Course (3 classes per week)			
	Contents & Textbooks	Goals (Descriptive)	Examples that signify the achievement for each grade
Jr.1	<p>Teacher's Name Denise Olivieri</p> <p><i>Active Skills for Reading 2</i> (main text) Novels(2) Short Stories Newspaper Articles Book Report Debate</p>	<ul style="list-style-type: none"> to review basic grammar to expand comprehension of various topics and themes using relevant vocabulary to reinforce all of the above through reading, writing and discussion 	<p>Students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> correctly use various tenses, ex: present vs. present continuous, simple past vs. present perfect / past continuous / past perfect / present perfect continuous, future. Also, tag questions, comparatives. use new vocabulary in comprehension activities; identify main ideas, summarize and give opinions on various topics in readings and documentaries. present a book report use debate format in small-group debates
Jr.2	<p>Teacher's Name John Presley</p> <p><i>Active Skills for Reading 3</i> (Units 1-5, 8) <i>National Geographic Reading Explorer 2</i></p>	<ul style="list-style-type: none"> to introduce new themes and ideas in English to expand the student's comprehension and vocabulary of these ideas to give them more opportunities to discuss and express their opinions about these themes (mainly natural world themes) 	<ul style="list-style-type: none"> in class group readings to work on pronunciation of new words discussions to get them thinking, usually with some follow up writing to help them cement their ideas example: UNIT 1, the teenage brain and addiction -> vocab related to the topic and discussion of social issues related to the topic. Reading comprehension and Q&A to get them thinking.
Jr.3	<p>Teacher's Name Adrian Thomas</p> <p><i>Active Skills for Reading 3</i> (Units 6-7, 9-12) Making Magazines (A tradition since 1996)</p>	<ul style="list-style-type: none"> to improve communication skills to encourage working as a team to continue to expand the student's vocabulary and teach them the use of language and structure 	<ul style="list-style-type: none"> learn the language of discussion in order to enable them to talk about matters relating to current affairs. prepare and present a 'radio show' on a particular place or event: they will create a magazine which will be available for all the students in Shoei to read. by the end of Jr. 3, students will be able to use reported speech, use all types of conditional sentences, a wide range of phrasal verbs and have the ability to use a variety of sentences using different types of relative clauses.

Returnees' Course Design and Can-Do List : Writing Course (1 class per week)			
	Contents & Textbooks	Goals (Descriptive)	Examples that signify the achievement for each grade
Jr.1	<p>Teacher's Name</p> <p>John Presley</p> <p><i>Weaving It Together 2</i> (most chapters)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • paragraph structure : topic and closing sentences • expanding into short essays of three or more paragraphs and speeches • writing compare and contrast essays, how to introduce people and places, how to explain steps of a process 	<ul style="list-style-type: none"> • Paragraph building will be central to the first term. Students will organize information into paragraphs and begin to learn how to connect several paragraphs smoothly • Students will also present speeches they have written on a variety of topics, including people they have interviewed, places they have visited, and explanations of the step by step processes of various activities
Jr.2	<p>Teacher's Name</p> <p>Denise Olivieri</p> <p><i>Weaving It Together 3</i> (Chapters 1-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • to teach students how to write a paragraph (a reinforcement of what they learned in Jr 1.) • to teach students the parts of an essay (a reinforcement of what they learned in Jr-1) • to teach students how to write specific types of essay – e.g. descriptive, narrative 	<ul style="list-style-type: none"> • Students will learn that a paragraph should have a topic sentence, supporting sentences and a conclusion. They will have a lot of practice of doing this. • Students will learn about thesis statements and how to write essay introductions, main body paragraphs and conclusions. Then they will practice by writing short essays on a variety of interesting topics. • Students will study examples of particular types of essays and then practice by means of writing rough drafts, editing and writing final copies.
Jr.3	<p>Teacher's Name</p> <p>Trevor Coombes</p> <p><i>Weaving It Together 3</i> (Chapters 5-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • to teach students how to write three to five paragraph essays on various topics with particular attention to format • to practice different types of writing register (academic, casual, summative, etc.) • to develop writing fluency 	<ul style="list-style-type: none"> • Students will write three to five paragraph essays on self-determined topics in four types: compare & contrast, argumentative, cause & effect , and personal narrative. • Students will carry out timed writing exercises • Students will write five essays per year, plus five essay exams in class. • Students will write references in APA style.

Returnee's Course Design & Can-Do List 英語 English (2 classes per week by Japanese Teacher)		
	Textbooks	Grammar
Jr.1	The 7 Habits of Highly Effective Teens [The Set Up ~Habit 1] New Crown 1 Bridge Work1	Be-verb, Have / Has, Verb, How often ~? / What do you do ~? / Where is ~?, Present Progressive, Can, Imperative, Irregular Verb, Verb (Past Tense)
Jr.2	The 7 Habits of Highly Effective Teens [Habit 2 ~Habit 4] New Crown 2 Bridge to MEL worktext2	Present Tense (Review), Past Tense, Past Continuous, Verb Usage, Simple Future, Conditions, Comparative, To-Infinitive,
Jr.3	The 7 Habits of Highly Effective Teens [Habit5 ~ Habit 7] New Crown 3 Bridge to MEL worktext3	Present Perfect, To-Infinitive , Passive Voice, Indirect Question, Relative Pronoun, Conjunctions, Reporting Sentences

Junior 3 MODEL ESSAY

中学3年生終了時までには、以下のようなエッセイを書けるようになることを目標とします。
以下は本校の中学3年の生徒が実際に書いたエッセイです。

Model Essay ①

My Favorite Tennis Player

He sprang up with his racket grasped firmly in his hand. I felt like I was standing alongside him on the court as my heart pounded with anticipation. The second I saw his racket hit the ball, it was already hurtling through the air aimed straight at his opponent's blind spot. The tennis court was enveloped with cheers from the audience, and I was fascinated by his play. My favorite tennis player is Kei Nishikori, who is one of the athletes I admire the most.

Kei Nishikori defeated Spain's Rafael Nadal at the Rio De Janeiro Olympics on August 14th, and won the bronze medal, the first medal for a Japanese tennis player in 96 years. When I watched this match I was inspired by him, and his play style encouraged me to practice harder when I wasn't able to focus on tennis practice. His opponent was Nadal, who is one of the big four in tennis, and the match lasted for almost three hours. I was amazed by their concentration and how they played their best until the end.

After winning the first set, Nishikori was leading the second set by 5-2. However Nadal made a comeback and took the second set back. Before the final set, Nishikori took a break to change his clothes, long enough to irritate Nadal. This break helped Nishikori concentrate and mentally readjust himself, and he was able to win the last game which earned him a bronze medal. Even though the second set wasn't so good for Nishikori, he didn't get so irritated and kept his own pace. Since I always get irritated quickly during matches, this was a good lesson for me. I admire his calmness and his confidence during matches, even in bad situations.

When Nishikori won the last point, I was very excited and also amazed by his strong and heavy shots. His fascinating match inspired me to practice harder and like tennis even more. Kei Nishikori is my favorite tennis player and one of the athletes I admire the most, and I'm looking forward to his future success.

Model Essay ②

The Differences and Similarities between Two Major Theme Parks

Theme parks are great places to make wonderful memories. Out of the many theme parks, I especially like Disney Resorts and Universal Studios. When I lived in Los Angeles, I used to visit them often. I found that although the parks may seem similar, there are many differences too.

There are many similarities between Disney Resorts and Universal Studios. First, Disney Resorts and Universal Studios are both theme parks. There are many attractions that are similar, such as roller coasters and boat rides. Secondly, both parks have spread all over the world. Also, both of the parks were first opened in California.

The two parks have many things in common, but there are many differences too. In Disney Resorts, there is a system called “FASTPASS tickets”, which you can use to ride attractions without waiting in line if you have the ticket called a FASTPASS. However, in Universal Studios, you have to buy another ticket if you don’t want to wait in line. In addition, in Disney Resorts, the characters that appear are almost all made by Disney. On the other hand, Universal Studios’ characters are not only made by Universal Studios. For example, Minions are used in attractions in Universal Studios, but “Despicable Me” is a film made by Illumination Entertainment.

Disney Resorts and Universal Studios are both world famous theme parks. They look similar, but are very different inside. I think they are great places to make wonderful memories and to spend time with your friends and family.

帰国生大学別合格者数(過去2年間)一覽

2020年度入試(卒業生50名)

〈四年制大学〉

大 学 名	合格者数	入学者数
東京大学	2名	2名
東京外国語大学	4名	3名
東京工業大学	1名	1名
一橋大学	2名	2名
横浜市立大学	1名	1名
埼玉医科大学	1名	
青山学院大学	24名	3名
学習院大学	3名	
慶應義塾大学	32名	12名
国際基督教大学	4名	2名
芝浦工業大学	1名	
上智大学	34名	3名
昭和女子大学	1名	
百合女子大学	1名	
聖心女子大学	1名	
中央大学	4名	
田塾大学	5名	1名
帝京大学	1名	
東京音楽大学	1名	
東京女子医科大学	3名	1名
東京女子農学部	1名	
東京農理学部	2名	
東京理洋学部	1名	
日本女子大学	2名	
日本政治学院	1名	
明治大学	5名	
明治大学	6名	
明治大学	1名	
立教大学	8名	
早稲田大学	40名	18名
神奈川大学	2名	
東洋英和女学院	2名	
フェリス学院	1名	
同志社	1名	
立命館	1名	
合 計	201名	49名

2019年度入試(卒業生56名)

〈四年制大学〉

大 学 名	合格者数	入学者数
東京外国語大学	5名	4名
東京芸術大学	1名	1名
一橋大学	1名	1名
酪農学園大学	1名	
国際医療福祉大学	1名	
城西国際大学	1名	
青山学院大学	27名	5名
学習院大学	4名	
北里大学	3名	
慶應義塾大学	38名	13名
国際基督教大学	1名	1名
駒澤大学	1名	
芝浦工業大学	1名	1名
上智女子大学	25名	2名
昭和女子大学	3名	
成蹊大学	6名	
成城大学	4名	
聖路加国際大学	2名	
中央大学	7名	
津田塾大学	6名	
東京女子大学	10名	
東京農学部	1名	
東京理本	2名	
日本獣生命科学	2名	1名
日本女子科学	2名	1名
日本看護	5名	
日赤看政	1名	
法武蔵野	10名	
明治大学	1名	
明治大学	18名	1名
明治大学	2名	
立教大学	20名	2名
早稲田大学	56名	19名
早稲田大学	2名	
麻布川	1名	
立命館アジア	1名	
合 計	272名	52名

説明会・公開行事

●学校説明会

今後変更になる可能性もあります。詳細はホームページにて公表致します。

	月・日	曜	時 間	対 象	申込受付開始予定
①	10月13日	火	10:15～12:20	一般生・帰国生	9月2日より
②	10月24日	土	13:00～15:00	一般生・帰国生	9月15日より
③	11月10日	火	10:15～12:20	一般生・帰国生	10月14日より

対 象 保護者
会 場 本学院グローリアホール

※全て同じ内容の説明会です。

※予約が必要です。本校ホームページからお申し込みください。

※今年度はコロナウイルス感染予防の観点から授業見学は実施いたしません。

●校内案内

今後変更になる可能性もあります。必ずホームページで実施の有無をご確認ください。

案内日時 15:45と16:15(1日2回) 下記の日程で行います。

10月[2(金)/12(月)/30(金)]

11月[2(月)/13(金)/16(月)/20(金)/27(金)/30(月)]

12月[14(月)]

1月[15(金)/18(月)/22(金)]

※予約が必要です。お電話での受付は9月より開始いたします。

●Co-Learners' Day (研究発表会)

今年度は、来場の皆様や本校生徒・教職員の安全を第一に考えて非公開とさせていただきます。

●クリスマスこども会

今後変更になる可能性もあります。詳細はホームページにて公表致します。

出席ご希望の方は、本校ホームページからお申し込みください。(受付予定…9月28日より)

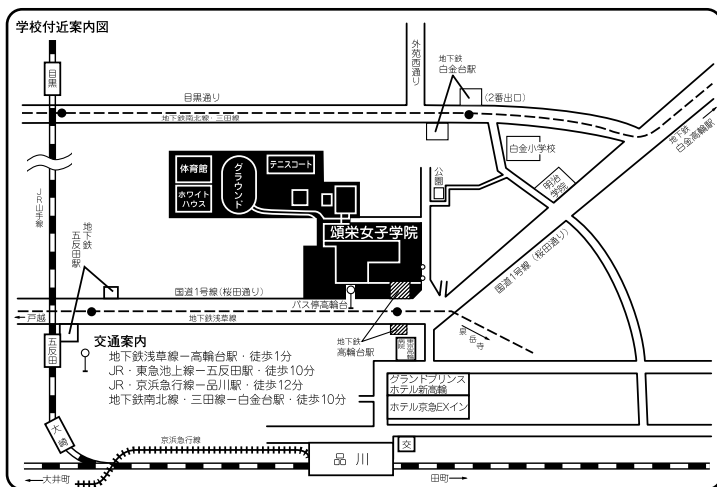
日 時 2020年11月28日(土) 午後1時～午後3時頃

会 場 本学院グローリアホール

※予約が必要です。本校ホームページからお申し込みください。

※今後変更になる可能性もあります。

☆本学院校舎内は上履不要です



しょう えい
頌栄女子学院 中学校
頌栄女子学院 高等学校
 英国学校法人 Winchester Shoel College

☎ 108-0071 東京都港区白金台2-26-5 ☎ 03 (3441) 2005・8009
 ホームページ <http://www.shoel.ed.jp>

交通 地下鉄浅草線-高輪台駅・徒歩1分 JR・東急池上線-五反田駅・徒歩10分
 地下鉄南北線・三田線-白金台駅・徒歩10分 JR・京浜急行線-品川駅・徒歩12分